

松山チャレンジランキング 2023

5月21日（日）、松山小学校グラウンド及び体育館にて松山子ども夢事業主催による松山チャレンジランキング大会（以下チャレラン）が開催されました。当日は天気にも恵まれ、熱中症や体調に気をつけながら子ども達は終始元気いっぱいでのやる気や笑顔で満ちていました。

チャレランの競技は全部で12種類あり、トロフィーやメダルをかけて熱戦が繰り広げられました。当日、サプライズ企画で、表彰者だけが座れる素敵なフォトスポットも用意されていました。2019年以前のような沢山の子どもの笑顔と、お友達と「何からやる？」など相談したりするワクワクした楽しそうな姿が見られた今回の開催は、子ども達にとってとても良い思い出となったと思います。

①ふりしぼれ！タオル【全学年】

水が入った容器からタオルを取り、タオルを振り回して水を吹き飛ばし、最終的なタオルの軽さを競いました。

タオルを取り出した時点で濡れたり、振り回してタオルが自分に当たり、回した水しぶきで濡れたりしていましたが、晴天の為とても気持ち良さそうでした。

②魚釣りゲーム【全学年】

30秒間で釣った魚の合計点数を競いました。

大きな2匹の魚がとても目を引きました。子ども達も目を輝かせながら真っ先に大きな魚を釣ろうと奮闘していました。水が張ってあるプールでの釣りだったので、思うように狙った魚が釣れなかったりして、それも楽しそうでした。

③プルバックカーチャレンジ【全学年】

プルバックカーを走らせ、机の端から距離の短さを競いました。

真っ直ぐになかなか進まず曲がって机から落ちてしまい、もう一回！とすぐ並んでチャレンジしたり、どのミニカーが真っ直ぐに進むかな？とミニカーを選んだりしていました。

④ケンケンパレースチャレンジ【全学年】

スタートから並べてある輪の通りにケンケンパしてゴールを目指し、タイムを競いました。

1，2年生は障害物は無く、3，4年生はケンケンパの途中に2つのベルを鳴らす障害物がありました。5，6年生は更に増え4つのベルがあり難しそうでしたが、何度もチャレンジしている子が見られました。

⑤スリッパ飛ばしダーツチャレンジ【全学年】

地面に書いてある的をめがけてスリッパを3回飛ばし、その合計点を競いました。

10，20，-10，60の順で点数が書いてあり、10点のところに高得点の箱があり、高得点の箱を狙っていましたが、スリッパが真上に飛んでしまったりしていました。

⑥ホールインワン連続チャレンジ【全学年】

グラウンドゴルフの道具を使い、2メートル50センチ先のゴール（枠内）に何回連続で入れることができるかを競いました。

力加減が難しく手前で止まったり、ゴールの枠を通り抜けていたり1回ゴールに入っても次が入らなかったりしていました。

⑦サイコロ「1」出しバトル！【全学年】

1分間に何回「1」を出せるかを競いました。

サイコロを置いては駄目と言うルールの中、いかに早くサイコロを沢山振れるかに集中している子が多く見られました。

⑧連続ジャンケンチャレンジ【1，2年生のみ】

スタッフとジャンケンして、どれだけ連続で勝てるかを競いました。

3回連続で勝てても次にあいこになったりして、勝つのは難しかったです。次はパーが出るよ、とスタッフが何を出すか推理して挑む子がいました。

⑨豆つまみ皿移動チャレンジ【全学年】

1分間でどれだけ多く的大豆を箸で隣の皿に移せるかを競いました。

冷静に確実に移動させる子、コツを掴んでヒョイヒョイ移動させる子、焦ってなかなか掴めない子、色んな子がいましたが豆がコロコロ動いてしまうので難しかったです。

⑩ボックス積み上げチャレンジ【全学年】

ボックスを高く積み上げ、ポイントを競いました。

ボックスの高さではなく、ボックスに書かれたポイントの合計で競いました。自分の背丈まで高く積み上げたり、2段にしてからバランス良く積み上げたり、高得点を探し高得点で積み上げたりしていました。

⑪紙飛行機チャレンジ【全学年】

決められた紙を使って紙飛行機を作り、どれだけ遠くまで飛ばせるかを競いました。

どうやったら遠くまで飛ばせるか考え紙飛行機の折り方を工夫しながら作っている姿が印象的でした。何度も練習場所で飛ばし本番に挑んでいました。14メートルの記録の子には驚きました。

⑫ビンゴカード穴あけ選手権【1，2年生のみ】

カード1枚（25個の穴）を何秒ですべての穴を開けられるかを競いました。

1，2年生のみの競技の為、緊張か真剣な顔で挑む子が多かったです。

競技終了後、各競技の表彰が行われました。上位5名、1～3位の3名にトロフィーと表彰状、4，5位の2名にメダルと表彰状が授与されました。表彰後、フォトスポットで記念撮影が行われました。

自分が表彰されなくても、お友達が表彰台に呼ばれると、「〇〇すごい!」「〇〇だ!」など自分のことのように喜び拍手する子たちが多く、笑顔で表彰台へ見送る姿は全力で楽しんだからだと思いました。表彰台に呼ばれた子は照れながらも満面の笑みで表彰台に上がり、達成感を味わっているようでした。

集計に時間がかかっていましたが、「何が楽しかった?」「タオルチャレンジ気持ち良かったよね」など、子ども達が退屈しないよう進行の方が声掛けしていて、それに元気に返事をしている姿も微笑ましく思いました。

天気にも恵まれ休憩を取りながらのチャレランでしたが体調不良の子もおらず、無事に終える事が出来て良かったと思いました。